

2025 年 12 月 20 日 (土)
10:00~16:30

誰がケアを担うのか

東アジアのケアの再生に向けた
社会開発モデルの構築と
ケアレジーム再編の現状と課題

会場・オンライン
ハイブリッド開催

参加費
無 料

近年の東アジアに共通しているのは、少子高齢化による労働力不足に加え、女性の就労や社会進出に伴うケアの担い手の不足などによる、いわゆる「ケアの危機」とも言われるような状況である。これには女性の就労と子育ての両立支援、男性の家事や育児参加を促すための施策が喫緊の課題である。また、ポスト工業社会における雇用と家族の揺らぎの中、都市や地域ネットワークによるケア機能の喪失（都市の危機＝ケアの危機）に伴う子どもの貧困の深化、ヤングケアラーやダブルケアラーの問題、保育及び学校現場の疲弊や教育格差の拡大などに対する子育て支援への課題に関心が高まっている。現在、このような問題を共通に抱える東アジアの国や地域の現状を共有し、施策にかかわる比較研究を行っていくことが求められている。そこで、本国際シンポジウムを昨年に引き続き東アジアの状況認識を共有する場として設定し、ケアの再生に資する社会開発モデルの構築、ならびにケアレジームの再編にかかわる国際共同研究の第一歩としたい。

対面会場
大阪公立大学
学術情報総合センター文化交流室

お申込・お問合せ先

下記リンクか
QR コードから
お申し込みください。



<https://forms.gle/5VyC3MC92aK2EpRi6>



時間	区分	報告者	テーマ
10:00-10:05	開会の挨拶	重松孝昌 所長	
10:05-10:15	趣旨説明	全泓奎(大阪公立大学)	
10:15-10:35	ケアされる：ひとり親家庭	吉中季子(神奈川県立保健福祉大学)	ひとり親家庭に対する公的なケアサポートの課題
10:35-10:55	地域子育て支援	東根ちよ(大阪公立大学)	地域福祉における子育て支援の変容
10:55-11:15	ヤングケアラー支援	河西優(立命館大学)	当事者参加型アクションリサーチからみえてきた子ども・若者ケアラー支援の課題とケアラー支援の必要性
11:15-11:35	社会的不利地域とケア	矢野淳士 (AKYインクルーシブコミュニティ研究所・大阪公立大学)	被差別部落における子ども支援とまちづくり —— 浅香地区の実践を事例に
11:35-11:55	災害とケア	菅野 拓(大阪公立大学)	危機から照射する日本のケアレジーム
11:55-12:55	休憩(昼食)		
12:55-14:05	韓国の統合ケアシステム	金辰宇 (徳成女子大学社会福祉学科)	地域に基づいた障害者統合ケアの課題と展望
(日韓逐次通訳)	通訳	松秋一菜(大阪公立大学)	
14:05-14:15	休憩		
14:15-14:35	台湾の家族支援と子どもへのケア	川瀬瑠美(広島文教大学)	台湾における家族支援政策と子どもへのケアの課題 —— 高リスク家庭支援とヤングケアラーの視点から
14:35-14:55	中国の少子化問題とケアの危機	楊慧敏(県立広島大学)	中国の少子化対策の課題：ケアの視点からみる発生要因との乖離
14:55-15:15	シンガポールのケアする側への支援	コルナトウスキ・ヒェラルド (九州大学)	シンガポールのケア・レジームにおける家事労働者支援の位置付け—— ケアの政治とサードセクターの役割
15:15-15:25	休憩		
15:25-16:25	総合討論		
16:25-16:30	閉会の挨拶		